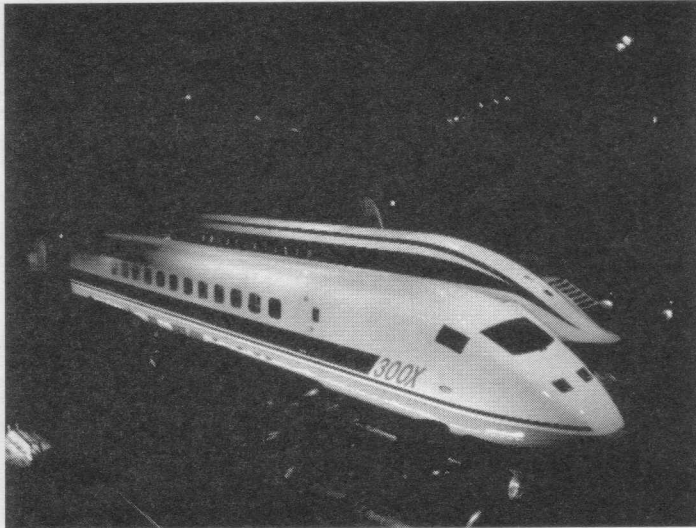


「時代錯誤」のリニア新幹線

—地球市民の書棚から⑰

地球市民 大村 昌宏



J R 東海リ
ニア館にて
2013/3/16

リニア新幹線の着工が迫っています。J R 東海が自費でやるとことだから「勝手にどうぞ」と思っていました。地下深くのトンネルを高速で移動するなんて閉鎖恐怖症の私にはとても耐えられない。そう利用しないだけだと。しかし調べてみるととんでもない代物であることが分かりました。

安全性への危惧があるほか環境破壊がすさまじく、しかも私たちが経済的負担を強いられそうなのです。

鉄道へのイメージは「安全と大量輸送」。そして「環境への負荷が小さい」です。残念ながらリニア新幹線の現実、これとはいずれも違うものです。リニア新幹線は、20 世紀の「時代遅れ」のプロジェクトといえます。今、社会のありようの転換が求められています。資源とエネルギーの大量消費型の社会から、「持続可能」「環境共生」の 21 世紀型へ。高齢化と人口減、社会保障の財源をどうするか。地震・津波、気候変動がこれに拍車をかける自然災害への備えをどうするか。国富の無駄づかいは許されません。リニア新幹線問題は、私たちが日本列島でどのような「営み空間」にしていくのか、の選択でもあるのです。

◎新幹線の成功→高速で「安全」 鉄道の可能性を世界に示した

飛行機や自動車の普及により、時代遅れとなりつつあった鉄道。東海道新幹線の成功

は、世界に高速鉄道の可能性を示すものになりました。開業以来、死亡事故ゼロの実績は誇らしいものです。

国鉄の技術者たちは、先見性を発揮しま